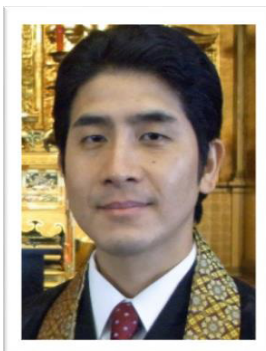


護持

護持 (月刊)
 発行所
 本派本願寺
 ハワイ別院
 1727 Pali Highway.
 Honolulu, HI 96813
 Tel: (808) 536-7044
 Webpage:
 hawaiibetsuin.org



禿定心開教使

本願寺ミッションスクールに通う三年生の息子悠真は、先々月、学校で、『ヘレン・ケラー』(Helen Keller, Margaret Davidson)の本を読んで感想文を書くという宿題が出ました。息子は、十章に分かれている九十頁の本を、一日二章ずつ読み進め、一週間ほど読み終えました。それで、息子に、その『ヘレン・ケラー』の本を読んだ感想を聞いたところ、「目が見えなくて耳も聞こえないのに、良い大学に入って、卒業したすごい人

だ。ヘレン・ケラーを教えた先生もすごい」と、息子なりにその偉大さを感じ取ったようでした。そこで私自身も、

息子が読んだその『ヘレン・ケラー』の本を読み、ケラー女史(1880~1968)の生涯について改めて学び直したことでした。ケラー女史が、六歳にして初めてことばの意味を知り、すべてのものには名前があるということに気づいた日のことが、劇的に書かれているところは、何度読んでも、読み手に感動を与えます。その本は、ケラー女史の「世界で最も素晴らしい、最も美しいものは、目で見たり手で触れたりすることではできません。それは、心で感じなければなりません」のことで閉じられてありました。ケラー女史が言うように、私たちは、目で見たり手で触れたりすることばかりに気が取られ、心で感じる事が疎

かになっていのではないのでしょうか。

ケラー女史は、一九三七年、一九四八年、一九五五年の三度にわたって日本を訪れていました。ケラー女史が日本を初めて訪れた際、日本のヘレン・ケラーと称される、中村久子女史(1897~1968)に会い、「私より不幸な、そして偉大な人」と久子女史に賛辞を贈っています。久子女史は、三歳の時に凍傷がもとで、両手両足を失いながらも、お念仏の教えに出遇うことで、力強く人生を生き抜かれました。久子女史は、ケラー女史のために口で縫った日本人形を贈りました。久子女史は「心をこめた仕事に、太平洋も国境もない。あらゆるものを乗り越えて行くのは、人間の持つ尊い真心なのだ」と記されています。つらい経験をもちながら、ひたむきに生きています

の同士が、ことばや国境を越えて、気持ちに触れ合うことができたのは、お互いの真心が通じ合ったからでした。久子女史が、七十二歳で亡くなる二年前の七十歳の時によんだ歌に「手足なき身にしあれども生かざるいまのいのちはたふとかりけり」があります。手足の無いことにはやとらわれることはなく、このままで生かされているいのちの尊さが述べられています。

このたび、ケラー女史の本を読み、また、ケラー女史と交流のあった久子女史の生き方から、真心をもって人に接し、心で感じることを大事にして生きる大切さを教えられました。そして、晩年の久子女史の歌が示しているように、仏さまの慈悲につつまれて歩む人生には、現実を引き受ける強さと、そのままの私で救われる深い安心があたえられ

ます。これからもお念仏の心を支えとし、ご恩報謝の心豊かな生活をともに過ごさせていただきましょう。

南無阿弥陀仏



ハワイ別院のお朝事へ

どうぞお参りください

ハワイ別院では月曜日から土曜日まで、毎朝8時から8時半まで、正信偈がお勤めされております。正信偈は親鸞聖人のお書き下さった、私達浄土真宗門徒にとって大切なお勤めです。まだお勤めしたことがない方、聞いてみたい方など、どなたでもお参りできますので是非おいでください。清々しい空気の中でお参りするのは、とても気持ちがいいですよ！

春のお彼岸のお知らせ

3月19日(日曜日)にハワイ別院春季彼岸法要がお勤まりになります。お彼岸の法要は、1年に秋と春の2度お勤めされます。日本では寒さの厳しい冬の終わり、また暑さの夏を過ぎて、季節な穏やかなこの春と秋の時期に、人々は相集い、彼岸(お浄土)に思いを馳せます。

ハワイでは、1年を通していつも気候は穏やかですが、だからこそかえって日々の移り変わりに気が付きにくくなってしまいう事もあるかもしれません。このお彼岸の時期に合わせて、改めて自分を振り返り、阿弥陀様とともに歩ませていただく人生の喜びを味わわせていただきましょう。

今年のお彼岸にはハワイ教団総長 松本エリック師がご講師としてお話しくださいます。なお、前日の3月18日(土曜日)朝8時から正午まで、お彼岸に合わせて松本エリック総長を囲んでのトークストーリーも催されます。皆様、どうぞお誘いあわせの

うえ、お参りくださいませ。参加費用等詳細は別院にお問い合わせください。



特別ご講師による

ご法話のお知らせ

3月12日(日曜日)朝8時から
の日本語・英語サービスにおきまして、龍谷大学真宗学科 鍋島直樹教授がご講師としてお話しくださいます。終末期ケア、愛別離苦(大切な人と別れていかなくはならない苦しみ)をはじめ、仏教の生命観、人間観など多岐にわたって研究をされていらっしゃると思います。ぜひお揃いでお参りくださいませ。

開教使赴任のお知らせ

2017年3月より、ソル・カル開教使がハワイ別院に赴任されることとなりました。カル先生のご紹介とご挨拶は4月号の護持でお知らせいたします。

ハワイ別院写真館

2月もハワイ別院ではいろいろなことがありました。2月10日〜11日に議制会が執り行われました。沢山の議題が熱心に話し合われました。



議制会に続きまして、ハワイ人間国宝(リビング・トレジャー)のバンケットが行われました。今年には6人の方が受賞をされました。

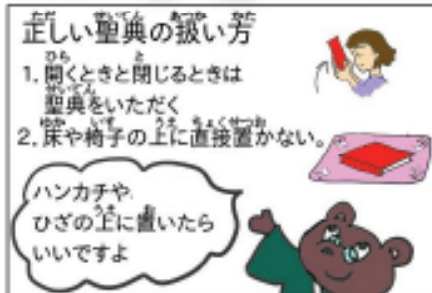


お経の成り立ち

お釈迦様が「存命の時代」、その説かれたお経が、文字として記され残されることはありませんでした。お釈迦様の弟子の皆は、口伝えでお釈迦様のみ教えを伝えていきましたが、理解の違いや誤解によって間違っていることを心配して、なんとかお釈迦様の説かれたみ教えを正しく後世の人々に残そうとしました。

お釈迦様が亡くなって4か月後に、第一回目の結集（鹿野園会）が行われました。一番お

ハワイ別院仏教4コマ 第2回「聖典って大切？」



釈迦様の説きよめたお経をよく聞いていたアーナンダ、一番戒律を正しく守っていたウパーリというお弟子が

お釈迦様から聞いたお経を暗唱し、皆でそれを確認しました。お

釈迦様が亡くなり100年程もたつと、み教えは人によって様々に解

釈され始め、それを正すために戒律を中心とした第二回の結集が教り行われたのです。しか

し、このことが原因でお釈迦様の教団は分裂してしまふ事になるのですー（来月に続く）

参考資料 『高校生からの仏教入門』小池芳章

3月のケアホーム訪問
2日 朝10時 ハレナニ
萩尾輪番

朝10時 ハレホアロハ
カーフマン開教使

9日 朝10時 マルヒア
禿開教使
朝10時 リリハ
初瀬部開教使

10日 朝9時半 クアキニ
カル開教使

23日 朝10時 スウアス
禿開教使
24日 朝10時 レアヒ
初瀬部開教使



別院以外の場所での

メモリアルサーピスについて

お寺までいらつしやるのが難しい方、また入院中の方、ナーシングホームにお住まいの方でも、お寺以外の場所でもメモリアルサーピス（ご法事）をお勤めすることが出来ます。別院開教使が必要なものを全部持って伺いますので、ご希望の方はご遠慮なくお知らせください。

別院カルチャークラスの

お知らせ

ハワイ別院では色々なカルチャークラスが行われています。興味のある方は別院までご連絡ください。
★書道、生け花、盆ダンス、サン・ポー・ダン、ハワイ語、日本語、タイチー、太鼓、シニア・フェローシップ、墨絵 等。





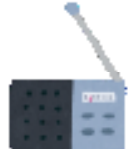
3月のご法縁

きのうは あんなに清楚に咲いていた 沙塵双樹 けさは 地におちてしまっている
 わたしは きょうも 親をむかえさせてもらった 申しわけないような わたしのままで・・・
 東井義雄

3月6日 本願寺デー 敬老会	午前8時 午前9時 午前10時 午後1時	日本語礼拝 ダーマスクール礼拝 英語家族礼拝 日中日本語礼拝	萩尾重一輪番 カル・ソル 開教使 アーサー・カウフマン 開教使 初瀬部唯可 開教使
3月12日	午前8時 午前9時 午前10時 午後1時	日本語礼拝 ダーマスクール礼拝 英語家族礼拝 日中日本語礼拝	編高直樹 節 アーサー・カウフマン 開教使 編高直樹 節 亮定心 開教使
3月19日 春季彼岸会	午前8時 午前9時半 午後1時	日本語春季彼岸法要 谷岡春季彼岸法要 日中春季彼岸法要	松本エリック 結長 松本エリック 結長 初瀬部唯可 開教使
3月26日	テイスト・オブ・本願寺のため、全てのサービスをお休みさせていただきます。 お誘いあわせの上、ぜひお出かけください！		



KZOO 放送 本願寺アワー
 毎週土曜日午前七時半より AM121D で放送中です♪
 3月4日 亮定心 開教使
 3月11日 曾我ジェフリー 輪番
 3月18日 萩尾重一 輪番
 3月25日 川崎広美 引退開教使



スポンサー料は100ドル以上です。お申し込みは
 亮定心 開教使までご連絡ください。ご法話の先生は
 変わることもございますので、ご了承ください。
 電話番号は (808) 536-7044 です。

3月の行事予定

- 5日 本願寺デー & 敬老会サービス
- 14・15日 龍谷スプリングセミナー
- 18日 春季彼岸トークストーリー
- 19日 春季彼岸法要
- 26日 テイスト・オブ・本願寺 (日曜サービスはお休み)

HMS Gala

日本語護持へのご意見ご感想等は初瀬部までご連絡ください。別院 536-7044 yhasebe@honpahi.org